

みどりとともに

第 24 号

2012 年 8 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会
水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階



❖❖❖ も く じ ❖❖❖

平成23年発生東北地方太平洋沖地震の被災箇所の復旧状況について ……	2~3
北茨城市の林業施策について ……	4
海岸防災林再生に向けて 茨城県林業種苗協同組合としての取り組み ……	5
協会だより ……	6~7
1. 平成24年度通常総会の開催	
2. 平成23年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール表彰,お知らせ	
協会の主な動き ……	8



平成23年発生東北地方太平洋沖地震の被災箇所への復旧状況について

茨城県農林水産部 林業課

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、県内ほぼ全域で震度6強から5強の強い揺れを観測しました。その影響により、最大で6.7mの津波及び1.85mの地殻変動を観測し、海岸部における浸水被害や利根川・霞ヶ浦など河川・湖沼の周辺部における液状化をはじめ、県内全域において、長期にわたり道路や鉄道のほかライフラインが寸断されるなど、広範囲で甚大な被害が発生しました。

林野公共事業関係においては、山腹崩壊や防潮護岸の倒壊・沈下、林道の路肩や法面の崩壊など合計206箇所が被災し、被害額は約47億円に上りました。

県としましては、このうち被害規模が大きいものや緊急性を要する53箇所について、国の災害復旧事業より早期に復旧に着手し、平成23年度末時点で23箇所の復旧が完了、残りの30箇所についても、今年度内の完了を目指し、現在、復旧工事を進めております。

1 治山事業の被害及び復旧状況 (写真1,2)

(1) 林地崩壊被害

林地では、県北地域を中心に12市町で山腹崩壊や地すべり、落石等の被害が発生しました。高萩市下君田地内では、山腹崩壊により発生した土砂が県道脇の斜面に堆積し、道路へ崩落する恐れがあったため、県道を片側通行規制するなどの緊急措置がとられたほか、大子町浅川地内では地すべりが発生、土砂が水路及び農地まで流出し、水稻の作付けができない状況となりました。

現在は、各被災箇所において、不安定土砂の撤去や法枠工等を施工するなど、被災箇所の復旧を進めています。



写真1 山腹崩壊復旧状況
(高萩市下君田)



写真2 防潮護岸復旧状況
(大洗町成田)

(2) 治山施設被害

内陸部における治山ダムや流路等の被害はありませんでしたが、海岸部では地震の揺れと津波の波力により、防潮護岸の倒壊及び消波根固ブロックの沈下等が発生しました。茨城県が所管する林地荒廃防止施設の防潮護岸は、延長約22kmのうち約4kmが、北茨城市から鉾田市までの広範囲にわたり被災しました。

被害は主に、傾斜型もたれ式防潮護岸の倒壊でした。地震で防潮護岸及び背面土砂が揺り動かされ堤体が海側へ倒壊したと同時に、津波が堤体を越流し、その引き波の衝撃により天端被覆の破壊が増し、堤体の裏に入り込んだ波により背面土砂の攪拌及び吸出しを受け被災したと考えられます。

一方、直立型扶壁式防潮護岸では堤体の倒壊はほとんど見られず、天端被覆の沈下の被害が発生しました。直立型扶壁式防潮護岸は堤体が自立しているため、地震により堤体が海側に傾いたものの顕著な倒壊は発生せず、背面土砂が揺り動かされたことによる天端被覆の沈下や陥没が起り、そこへ津波が越流し、その引き波の衝撃により天端被覆の破壊が拡大し被災したと考えられます。

現在、防潮護岸が倒壊した箇所については、新たに直立型扶壁式防潮護岸を施工し原形復旧を行っております。また、天端被覆が被災した箇所については、平成23年度中に復旧が完了しています。

2 林道事業の被害及び復旧状況 (写真3, 4)

林道については、石岡市ほか7市町の38路線141箇所において、切土法面や路肩部の崩壊、路面の亀裂などの被害が発生し、そのほとんどが一時通行止めとなりました。このうち、被害規模が大きいなど、国の災害復旧事業に該当する10路線38箇所について、国の補助を受け復旧に着手し、2路線については復旧が完了、残りの8路線についても現在復旧工事を進めており、年度内には全箇所の復旧が完了する見込みとなっています。

また、国の補助対象とならない箇所についても、県の単独事業や市町村単独事業により、現在、復旧工事を進めています。



写真3 林道袋田・男体・湯沢線の被災状況
(大子町西金)



写真4 林道袋田・男体・湯沢線の復旧状況
(大子町西金)

3 おわりに

昨年は東北地方太平洋沖地震による被害のほか、9月には台風15号による被害も発生し、さらに本年も、5月2日から4日にかけての豪雨、6月には台風4号により山腹崩壊や林道の被害が発生するなど、近年になく災害が多発しております。県では、今後も災害復旧に関する地域からの要望等に迅速に対応して参ります。

また、通常事業につきましても「茨城県森林・林業振興計画2011～2015」等に基づき、山地災害危険地区の整備や、森林施業の集約化及び効率的な間伐等を目指した林道等の路網の整備など併せて実施して参ります。

町から
村から

北茨城市の林業施策について

北茨城市 環境産業部 農林水産課

北茨城市は、茨城県の最北部にあり首都東京からは、東北に180kmの地点で、市域の西に、阿武隈高地が南北に連なり、その支脈を水源とする大北川、塩田川、里根川などの各河川が太平洋に注いでおり、米や自然薯、鮮魚など山・海の幸に恵まれた風光明媚な地域です。

本市の総面積18,655haのうち林野面積は、12,755haで林野率68.4%と茨城県平均を大きく上回っています。所有形態別の森林面積は、民有林6,790ha、国有林5,965haとなっています。

昨年、東日本大震災により本市も大変な被害を受けました。主に津波の被害がひどく、死者も出るという悲惨なものでした。幸い林道については、大きな被害がありませんでした。現在、復興計画が策定され、実現へ向けて一步一步確実に歩みを進めています。

本市の林業施策については、平成22年度から「親子木工教室」を実施しています。テーマは「地産地消」の推奨です。「地元の木材」ここでは「間伐材」を使用し、それを「地元の職人」が製材・加工を行い、「地元の人」がモノをつくるというものです。

このような流れを実際に作ることで体感し森林への知識を深め、机や椅子などの形にすることでテーマをより深く認識します。また、親子で協力して製作することによって、「モノづくりの楽しさ」を学んだり、「家族の絆」を深めたりしています。

製作してできた机には、愛称もあります。「でき杉君」といいます。これは「杉材でできた机」という意味だけではありません。使用する素材は、天然であり使えば使うほど机に風合いがでてきます。その頃には勉強が「できすぎる」くらい成長しているという意味もこめられているのです。



天然杉材でできた机「でき杉君」と椅子

木工教室は、これまで3回実施されています。回を重ねる度に盛況で規模が大きくなっており、地元の関心が高まっているのを肌で感じます。

このように「地元の人」という末端利用者の関心を高め、「地元の木材」の生産者に良い形でフィードバックさせることで、林業の活性化につなげていけるよう努めてまいります。



親子木工教室の製作状況



海岸防災林再生に向けて 茨城県林業種苗協同組合としての取り組み

茨城県林業種苗協同組合

昨年の3月11日に起こった東日本大震災に伴う大規模な津波により、太平洋側の広い範囲で海岸防災林に甚大な被害をもたらしました。

この海岸防災林については、潮害の防備、飛砂・風害の防備等の災害防止機能を有しており、農地や居住地を災害から守るなど地域の生活環境の保全に重要な役割を果たしております。

特に、こうした機能を高度に発揮する森林は、飛砂防備保安林、防風保安林、潮害防備保安林及び防霧保安林に指定されており、また、これらのうち美しい景観を維持しているところでは、風致保安林や保健保安林等に重複指定されています。

東日本大震災後、これらの海岸防災林においては、津波エネルギーの減衰や漂流物を捕捉するなど一定の効果があつたことが報告されております。例えば、波にさらわれた人がすがりついたり、ひっかかる対象となったり、津波の波力を減衰して流速やエネルギーを低下させ、その破壊力を弱めたり、樹木が漂流物の移動を阻止し、移動によって生じる二次的災害を軽減または防止したり、強風による砂丘の移動を防いで海岸に高い地形を保ち、それが津波に対する障壁となって海水の浸入を阻止するなど、海岸防災林はこうした重要な役割を担っていることから、その再生が強く求められています。

一方、本県の海岸防災林においては、クロマツが防潮・飛砂防止に優れ、海岸に植栽する樹種として一番適しており、またクロマツ林が地域の海岸景観を形作る上で最もよいとされたことから永年にわたり植栽されてきましたが、近年、松くい虫被害による海岸防災林の衰退も危

惧されております。

これからの海岸防災林の再生には、クロマツだけでなく、シイ・タブなど郷土樹種を取り入れた海岸地域の環境に適した多様な樹種の苗木の植栽が必要になってくると考えております。

また、松くい虫被害を考慮して、松くい虫につよいクロマツ（抵抗性クロマツ）を用いることとし、県林業技術センターで採種した種子を使用するなど、引き続き抵抗性のクロマツ等の生産を行ってまいりたいと考えております。



抵抗性クロマツ苗木（那珂市杉）

当組合としましても、海岸防災林の再生の進捗や植栽地の環境に適した郷土樹種の苗木需要量を把握し、それに対応できる苗木を生産し、即時提供できる生産体制を整備する必要があると考えます。

本県の海岸防災林の再生に向け茨城県林業種苗協同組合としてより一層、貢献していきたいと考えておりますので、県及び林業関係団体の皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

協会だより

1.平成24年度通常総会の開催

平成24年5月25日(金)、水戸市内の茨城県市町村会館において、会員数23名、うち委任状出席を含め23名において、第33回通常総会を開催いたしました。

当日は、大久保太一副会長(常陸太田市長)の開会のことばに続き、山口伸樹会長(笠間市長)より「大規模災害の多発した一年でしたが、山地災害の備える治山事業の重要性、山村地域の活性化のための林道の計画的整備の必要性を再認識した。各事業が円滑に推進するよう努力したい。」とあいさつがありました。

また、議案第7号の森林湖沼環境税の継続に関する決議では「森林は、林産物の供給をはじめ水源のかん養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの機能を有し、県民の生活に欠かすことの出来ない緑の社会資本である。しかし、荒廃した森林は県内に数多く残されていることから、豊かな森林を将来に引き継ぐ必要があるため継続を求め。」と述べ、決議が承認され、今後関係団体とともに県に要望することにした。



あいさつする山口会長

総会には、来賓として橋本昌県知事、石川多聞県議会議員・県林業協会長、竹田元次(社)日本治山治水協会総務部長をはじめ県の関係幹部職員や各関係団体代表の方々など多数のご臨席を頂き盛会のうちに開催されました。



祝辞を述べる橋本県知事

議案については、山口会長を議長に選出し、議案第1号から第7号まで、原案のとおり可決承認されました。

〈提出議案〉

- 議案第1号 平成23年度事業報告並びに収支決算について
- 議案第2号 平成24年事業計画並びに収支予算について
- 議案第3号 平成24年度会費の賦課及び徴収について
- 議案第4号 平成24年度借入金の最高限度額の決定について
- 議案第5号 平成24年度役員報酬の決定について
- 議案第6号 平成25年度暫定予算について
- 議案第7号 「森林湖沼環境税」の継続を求める決議について

2. 平成23年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール表彰

◇第34回 林道維持管理コンクール

森林の整備、山村の活性化に寄与する林道について、適正な維持管理を推進し、林道機能の保全と通行の安全確保を目的とし、県の協力を得てコンクールを実施しました。

入賞路線は、次のとおりです。

区分	管理者	路線名
知事賞	常陸大宮市	深山不動下線

◇第12回 治山・林道木材使用工事コンクール

民有林治山・林道工事における木材の使用を促進するとともに、技術の向上を目的とし、県の協力を得てコンクールを実施しました。

入賞路線は、次のとおりです。

区分	事業名	請負業者	備考
知事賞	保安林改良事業第9号	(株)いばらき森林サービス	治山工事
農林水産部長賞	保安林改良事業第7号	茨城県森林組合連合会	治山工事
治山林道協会会長賞	保安林改良事業第8号	(株)いばらき森林サービス	治山工事



大久保副会長、山口会長、栗田次長兼林政課長、星林業課長(左から)とコンクール受賞の方々

《お知らせ》

◇日本治山治水協会主催による山地災害防止標語・写真コンクールの入賞者について

日本治山治水協会(東京都千代田区)は、林野庁の「山地災害防止キャンペーン」の関連行事として、平成10年度から毎年、防災意識の高揚を広く国民に呼びかける標語作品を募集し、審査を行い優秀な作品を表彰してきています。

23年度は、全国から1,498点もの応募があり、審査の結果、13点が入賞しました。入賞者は12道県におよび、その中で茨城県小美玉市の大山浩明さん・藍さん親子がW入賞しました。また、写真コンクールでも大山萌さんが入賞しており、標語と写真を合わせると大山さんご家族3人が入賞しました。

入賞した大山さんご家族に対し、去る平成23年12月28日に笠間市役所市長室において、山口会長より日本治山治水協会からの表彰状の伝達式が行われました。

入賞した作品は、日本治山治水協会関係のホームページ「平成23年度山地災害防止標語及び写真コンクール」に掲載されています。

☆入賞作品と入賞者は、次のとおりです。

※優秀賞(標語)

『あなどるな 自然はいつも味方じゃない』

大山 藍

(小美玉市立玉里北小学校6年)

※奨励賞(標語)

『古(いにしえ)の伝えを守り

現在(いま)を知る』

大山 浩明

※奨励賞(写真)

『いにしえの木』

大山 萌

○ 協会の主な動き ○ 1月～6月

- ▲ 1月 11日 明日の茨城づくり新春の集い(水戸市)
- 1月 23日 林業団体合同新年の集い(水戸市)
- 1月 25日 日本林業再生における森林土木等に関する研究会(東京都)
- 1月 26日 全国治山林道協会会長会議(東京都)
民有林振興会セミナー・総会(東京都)
- ▲ 2月 6日 明日の茨城の林業を考える懇談会(水戸市)
- 2月 9日 2月期公益法人定例講座(東京都)
- 2月 10日 特例民法法人の移行登記手続きに関する第2回説明会(水戸市)
- 2月 14日～15日 治山林道コンサル技術研究会(東京都)
- 2月 16日 茨城県農林水産振興協議会
県内視察(北茨城市外)・総会(水戸市)
- 2月 21日 「宮の郷工業団地への林業・木材産業施設集積を睨んだ県北林業の視点」講演会
(常陸大宮市)
- 2月 23日 林業雇用管理改善セミナー(水戸市)
- 2月 24日 茨城県林業種苗協同組合通常総会(水戸市)
- 2月 28日 国有林収穫調査業務実務研修(東京都)
- ▲ 3月 21日 第3回 役員会(水戸市)
- 3月 23日 (社)茨城県林業協会第5回幹事会(水戸市)
- 3月 27日 放射性物質に関する(基礎知識)勉強会
(常陸太田市)
- ▲ 4月 4日 森林土木コンサルタント連絡協議会
通常総会(東京都)
- 4月 16日 平成24年度 緑の街頭募金(水戸市)
- ▲ 5月 8日 監事会(水戸市)
水戸地区会税務研修会(水戸市)
- 5月 10日 (社)茨城県林業協会第1回幹事会(水戸市)
- 5月 15日 (社)茨城県林業協会第1回理事会(水戸市)
- 5月 22日 茨城県森林組合連合会通常総会(水戸市)

- 5月 24日 (社)茨城県林業協会通常総会(水戸市)
茨城県農林水産業関係団体連絡会
第9回定期総会・事務局会議(水戸市)
- 5月 25日 平成24年度 第1回役員会・第33回通常総会
(水戸市)
- 5月 27日 第63回全国植樹祭(山口県)
- 5月 29日 茨城県木材協同組合連合会通常総会(水戸市)
- 5月 30日 (社)茨城県緑化推進機構通常総会(水戸市)
- 5月 31日 茨城県林業土木事業協同組合通常総会
(水戸市)
- ▲ 6月 19日 水戸法人会第36回(公益社団法人第2回)
通常総会並びに記念講演会(水戸市)
- 6月 26日 茨城県農林水産振興協議会総会(水戸市)
- 6月 27日 (社)茨城県林業協会長との懇談会(水戸市)

今後の予定

- 8月 9日 日本治山治水協会理事会・通常総会
- 10月 4日～5日 全国治山林道協会会長会議
- 11月11日 第36回全国育樹祭
- 11月12日 日本林道協会総会
治山・林道工事コンクール表彰式

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「奥久慈憩いの森・風の笹道」
(久慈郡大子町高柴地内)
佐藤征男氏撮影